



プログラム 10月25日(金)

| | |
|---|---|
| 13:00-13:10 | 開会の辞 井ノ口仁一 (世話人代表) |
| 13:10-13:20 | 会長挨拶 谷口直之 (JCGG会長) |
| セッションⅠ メタボリックシンドロームと糖鎖 座長 仁田一雄、東秀好 | |
| 13:20-13:45 | 大坪和明 (熊本大学) 糖尿病発症過程におけるβ細胞の糖鎖異常 |
| 13:45-14:10 | 秋元義弘 (杏林大学) O-GlcNAc修飾と糖尿病 |
| 14:10-15:35 | 永福正和 (東北薬科大学) T細胞分化制御機構および免疫疾患における スフィンゴ糖脂質発現の意義 |
| 14:35-15:00 | 井ノ口仁一 (東北薬科大学) 生体恒常性の破綻とスフィンゴ糖脂質代謝 |
| 15:00-15:40 | 休憩 |
| ■特別講演Ⅰ 座長 井ノ口仁一 | |
| 15:40-16:25 | 片桐秀樹 (東北大学) メタボリックインフォメーションハイウェイ |
| ■特別講演Ⅱ 座長 遠藤玉夫 | |
| 16:25-17:10 | 大隅典子 (東北大学) 脳と内耳における脂質シグナルの役割 —統合失調症および加齢性難聴との関連について— |
| 18:30-20:30 | 懇親会 |

プログラム 10月26日(土)

セッション2 がん糖鎖 座長 宮城妙子、顧建国

| | |
|-------------|---|
| 9:30-9:55 | 大山 力 (弘前大学) 前立腺特異抗原(PSA)糖鎖のがん性変異を検出する 新規アッセイ法の臨床応用 |
| 9:55-10:20 | 顧 建国 (東北薬科大学) がん遺伝子GOLPH3によるN型糖鎖と細胞接着の制御とその意義 |
| 10:20-10:45 | 三善英知 (大阪大学) 糖鎖科学による膵がんへの挑戦 |
| 10:45-11:10 | 宮城妙子 (東北薬科大学) がん化におけるシアリダーゼの役割 |
| 11:10-11:30 | 古川鋼一 (名古屋大学) マスタープラン学術大型研究計画 「複合糖質の統合的理解と疾患の解明をめざす 先端的・国際研究拠点の形成」の概要 |
| 11:30-11:40 | 休 憩 |
| 11:40-12:30 | ランチョンセミナー (sponsored by 島津製作所) 座長 井ノ口仁一 鈴木明身 (東海大学) Targeted Glycolipidomicsが可能にする新展開 |
| 12:30-13:00 | 休 憩 |

セッション3 神経機能と糖鎖 座長 橋本康弘、北川裕之

| | |
|-------------|--|
| 13:00-13:25 | 門松健治 (名古屋大学) 硫酸化糖鎖による神経軸索再生制御 |
| 13:25-13:50 | 北川裕之 (神戸薬科大学) 神経系におけるコンドロイチン硫酸の役割 |
| 13:50-14:15 | 岡 昌吾 (京都大学) グルタミン酸受容体に発現するN型糖鎖とその役割 |
| 14:15-14:40 | 橋本康弘 (福島県立医科大学) 髄液型糖鎖と中枢神経疾患 |
| 14:40-15:00 | 休 憩 |

セッション4 応用糖質科学 座長 齋藤忠夫、正田晋一郎

| | |
|-------------|--|
| 15:00-15:25 | 正田晋一郎 (東北大学) オリゴ糖脂質を合成する新手法の開発 |
| 15:25-15:50 | 白井 孝 (野口研究所) 均一糖鎖構造を持つ糖タンパク質合成の動向と展望 |
| 15:50-16:15 | 齋藤忠夫 (東北大学) ヒト大腸ムチンの糖鎖構造を認識結合する プロバイオティクスの選抜技術と大腸がんや潰瘍性大腸炎 予防への応用 |
| 16:15-16:40 | 袖岡幹子 (理化学研究所) 代謝安定型ガングリオシドの合成と生物活性 |
| 16:40-16:45 | 閉会の辞 |